

## 「分子生体応答研究分野セミナー」を開催

2018年12月13日

12月13日（木）に、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、金沢大学理工研究域生命理工学系 助教 小林功先生をお招きして、分子生体応答研究分野セミナーを開催しました。

セミナーでは、「ゼブラフィッシュ Jam3b は血液・血管系の発生過程において二峰性の役割を果たす」という演題で、ゼブラフィッシュの初期造血過程について、講演していただきました。造血過程のみならずゼブラフィッシュを用いた研究に関する最新の知見を紹介いただき、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等、約20名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われました。



# 分子生体応答研究分野セミナー

**日時：** 2018年12月13日(木) 17:00～18:00

**場所：** がん進展制御研究所・会議室(4階)

**演者：** 小林 功 先生  
(金沢大学・理工研究域生命理工学系・助教)

**演題名：** ゼブラフィッシュJam3bは血液・血管系の発生過程において二峰性の役割を果たす

発生過程において造血幹細胞は血管系の前駆細胞である血管芽細胞から派生することが知られており、中胚葉から造血幹細胞が形成されるまでには、先に血管系の特性を獲得する必要がある。しかしながら、中胚葉から血管系、造血系への一連の分化過程は断片的にしか理解されておらず、その分子メカニズムには不明な点が多い。ゼブラフィッシュを用いて細胞接着分子Jam3bが中胚葉から血管系への特性獲得、および血管系から造血系の特性獲得の両方において重要な役割を果たすことを見出した、最近の研究成果を中心にお話ししていただく予定です。

多くの方のご来聴を歓迎いたします。

向田 直史(分子生体応答・内線6735)